

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.40)

2012.9.4

もくじ

1. 6 月度 Abies ボランティア活動
池ノ沢の下刈り作業
2. 6 月度 Abies ボランティア活動
第 17 回 千葉演習林利用者説明会
3. 6 月度 Abies ボランティア活動
菖蒲沢整備
4. 7 月度 Abies ボランティア活動
森林博物資料館案内他
5. 7 ~ 8 月度 Abies ボランティア活動
高校生のための森と海のゼミナールサポート
6. 演習林関係 出版本の紹介
7. 9 ~ 12 月の Abies ボランティア活動予定

6 月度 Abies ボランティア活動

池ノ沢の下刈り作業

中原 紀代治

日 時 平成 24 (2012) 年 6 月 11 日 (月) 天気 (曇り) 9 時から 15 時

参加者 職員 8 名、Abies 岩崎夫妻、米倉、中原 (4 名) 合計 12 名

早朝までの雨が上がり、涼しくて絶好の下刈り日和だ。塚越さんの案内で清澄作業所から、アブラギリやウツギの花が咲く、郷台林道を通り池ノ沢の道路際に駐車した。

下刈り用の大きな鎌を借りて、注意事項を聞いていざ出陣。尾根伝いに歩くとシカ除けの網の張られた現場は、杉の木を伐採した後にヒノキが植えられ 3 年目、池ノ沢 22C7-4 で面





ウグイスの巣

にトゲが鼻に刺さり血が出てビックリしたが、すぐ止まった。伸びた雑木は二回に分けて切るコツを覚えました。ウグイスの巣も発見、ヤマビルや蜂もいない事故の無い楽しい一日でした。帰りに、ノウサギとネジキの花が観られて、ラッキーでした。

積が 1.14ha あり緩い傾斜地で日当たりの良い場所でした。

刈り取りは、ジャケツイバラ、ニガイチゴ、タラノキ、サンショウ、何故かトゲのある植物ばかり、ヌルデの木も多かった。ヒノキの伸びの悪い木を伐らない様に注意して鎌を引く。慣れないせいか腕力だけで鎌を使うので、握力がなくなり休みながらマイペースで刈る。ジャケツイバラを切った時



ネジキの花

6 月度 Abies ボランティア活動 第17回 千葉演習林利用者説明会

岩崎寿一

平成 24 (2012) 年 6 月 18 日 (月) 第 17 回 千葉演習林利用者説明会に参加、聴講致しました。利用者説明会とは千葉演習林を利用して調査研究をしている方々が、その内容を発表する場です。今年度の発表件数は 19 件、聴講は 47 名でした。

Abies からは石川(輝)、恵、長谷川、中原、と岩崎 5 名が聴講致しました。

興味深い発表が続きあっという間の時間でしたが、今回私の印象に残ったのは次の事でした。

前千葉演習林長 山本博一先生が、「檜皮(ひわだ)剥皮が樹木に与える影響」について発表されました。試験後の檜材を利用して「東大からの架け箸」という檜の箸を作り東大グッズとして販売しましたが、販売のお手伝いをしたことを思い出しました。山本先生はボランティア会 Abies 設立時の千葉演習林長で、大変お世話になった先生です。懇親会でお話しが出来た事嬉しかったです。

千葉県立中央博物館の先生方が「維管束植物調査」「昆虫調査」「温帯性植物の立地と生態」と三項もの発表をされたことで、千葉演習林の生態系の豊かさを研究されていることが伺えて研究の結果がとても楽しみです。



ボランティア会 Abies として「千葉演習林ボランティア会 Abies の活動紹介」を岩崎から発表させて頂きました。内容の中で特筆する点は次の事です。

昨年 3 月の Abies 定例総会を東日本大震災のため中止した事。9 月に濁川で「水生生物観察会」を行った事。ボランティア会 Abies が演習林発行の冊子「“森たび” 東京大学演習林の見どころ 100」に掲載された事。そして今年 4 月から事務局所在地を千葉演習林天津事務所内に変更した事などでした。

昼食はカレイライスをお腹いっぱい頂きました。予定通り終了し、夕食後は例年の通り懇親会で盛り上がり会話がはずみました。

以上

6 月度 Abies ボランティア活動 菖蒲沢整備

岩崎寿一

平成 24 (2012) 年 6 月 19 日 (火) 菖蒲沢の除草と鹿柵外に菖蒲の植え付けを行いました。参加者は恵、米倉、長谷川、中原、岩崎の 5 名です。

当初、利用者説明会 (18 日) の翌日 (19 日) は午前中に観察会を行い 13 時から菖蒲沢の整備を行う予定でしたが、台風の影響で午後から雨の予報になったため、朝から菖蒲沢の整備作業をすることに変更しました。

スコップとぬかるみ対策の板を用意頂き、演習林の車で菖蒲沢に向かいました。まず鹿柵内に入り点検すると何者かが侵入した形跡がありました。ミゾソバの枝先に食害の痕跡があり、菖蒲が倒されていました。防護ネットの裾を押さえているペグが何本も抜けていたので、ネットの下から潜り込んだのではないかと推測されます。抜けないようにしっかりとペグを打ち直しました。

2009 年 6 月菖蒲を植え付けて丁度 3 年経過しました。菖蒲の株は大きく元気に育っています。まずは雑草を取り柵外へ出しました。菖蒲の株の根本にイモリが沢山生息していました。

菖蒲沢の菖蒲が全滅してしまったのはシカの食害が原因だと云われているが本当か? の疑問を解くため、数カ所の大きな株から植え付け用の株 10 株ほど取り分けて柵外に植え付けました。はたして柵外に植えた菖蒲はシカの食害に会うのか? 結果が楽しみです。



柵の外に植えた菖蒲

作業は 1 時間程で終わり一杯水林道を植物観察しながら清澄宿舎に向かいました。

ツルアリドウシの白い花が至る所に咲いていて、とても印象的でした。普段は花の時期に巡り会わ

ないのですが、丁度良い一瞬のタイミングです。ギンリョウソウも沢山見る事が出来ました。中原さんの案内でモロコシソウを見に寄り道しました。つぼみはありましたが、花には少し早かった様です。宿舎に着く直前に雨が降り出しましたが、ずぶ濡れにならず到着しました。

(後日談 8日後の6月27日、恵さんが現地を確認したところ柵外に植えた菖蒲に食害は見られないとの報告でした。)

以上

7 月度 Abies ボランティア活動

森林博物資料館案内他

石川 輝雄

平成 24 (2012) 年 7 月 8 日 (日) 埼玉県立自然の博物館友の会の皆さん (参加者 15 名) を対象に、千葉演習林の森林博物資料館を案内・解説しました。

森林博物資料館は清澄宿舎の斜め右側にある 2 階建の建物で、千葉演習林内で採集された学術標本・剥製や、かつて使用された道具や書物などが展示・保管されています。

今回は石川 (輝) と中原さんの 2 名での対応です。朝 9 時にスタートして約 2 時間の持ち時間です。



当初、全員に対して順次展示物の解説を行うことを考えていましたが、友の会の仕組みをお聞きした所、植物、動物・昆虫、地質と担当が分かれていることがわかりました。

そこで全員への解説は全般的な千葉県・千葉演習林とその森林の状況などにとどめて、後は自由に見てもらおう形に急遽変更しました。1 階分を中原さん、2 階分を石川 (輝) が担当して、随時解説しながら質問があれば答えるということでした。解説持ち時間 2 時間は少し長すぎて、1 時間位が適当な時間と思いました。

依頼されていたことはここで終了ですが、その後、郷台林道を歩きながら自然観察会を行うということでしたので一緒にお付き合いをしました。

予定では元清澄山までの往復になっていましたが、お昼を清澄の宿舎にて食べるとのことなので、これは時間的に無理で、実際は荒檜沢のモミ・ツガ天然林を見ることができる場所 (かつて崩壊のあった場所) までの往復となりました。

途中、話がもりあがったのはやっぱりヤマビルで、何人が犠牲者がでました。

見ることのできた花は、ケイワタバコ、シタキシソウ、ホタルブクロ、ウツボグサ (別名カコソウ)、モジズリ、クサアジサイ、コ克蘭などです。

昼食は清澄宿舎の食堂を利用して皆さんと一緒に食べて解散となりました。

7～8月度 Abies ボランティア活動

高校生のための森と海のゼミナールサポート

石松 彰

「東京大学科学の森教育研究センター（千葉演習林）」と「千葉大学海洋バイオシステム研究センター」の主催で、平成 24 年 7 月 30 日（月）から 8 月 1 日（水）までの 3 日間にかけて「高校生のための森と海のゼミナール」が行われ、サポート役として石松夫妻の 2 名が参加しました。

今回参加した高校生は男性 4 名、女性 7 名、計 11 名で出身校は千葉県：1 名、東京都：2 名、神奈川県：3 名、埼玉県：2 名、栃木県：2 名、茨城県：1 名です。

今年の天候は猛暑であったため、適時水分補給タイムを設け熱中症とならないように注意しました。



森の大きさは木の高さ等を調べ測ります

実習「森の大きさを測る」ではヒノキを伐採し木の直径・高さ・重量を直尺・巻尺・ばね量りで実測した。次に本数密度測定は巻尺で半径約 5.7m（約 100m²）内のヒノキ本数を数え 16 本で本数密度は 1600 本/ha となった。またこのヒノキの CO₂ 固定量はおよそ CO₂-6.6 トンでした。ちなみに日本人は一人当たり一年でこの 1.5 倍の CO₂ を排出しているそうです。

「植物採集し押し葉標本を作ろう」実習では演習林内の天然林、高齢人工林、旧薪炭林等様々な森林の観察や植物採集を行なった。参加者の中には学校で生物クラブ等に所属し草花や昆虫に詳しく、図鑑でしか見たことがない動植物の実物を発見し写真を夢中で撮ったり触ったりしていた。また採集してきた植物は、標本にするため適当な大きさに剪定し新聞とダンボールに挟み乾燥させた。翌日押し花標本をするため葉・花等の特徴から図鑑より植物名を探す作業に着手した。しかしすんなりとはいかず先生に探す手順等を教わってようやく名前を導き出すことができ苦心していた。

「植物採集し押し葉標本を作ろう」実習では

「海辺の生き物たち観察と生態調査」実習では、台風の影響で波が高く天候も雨模様であったが、磯辺の散策では海藻や貝類等を先生は皆が見えるようにひとつひとつ拾い上げ丁寧に説明されていた。高校生は海辺の生き物を直に見る機会がなかったようで熱心に覗きこんでいた。そのうち自分たちで見つけた海の生き物や海藻を取り上げたり、名前は何かと積極的に問いかけていたが予定時間が過ぎ



植物名を図鑑で調べ押し葉標本を作ります

て先生に促されるよう浜を引き上げた。最後に先生は「以前は海を出ていく船をたくさん見たが今は少なくなった、それと同じく海藻類も減少した」とおっしゃっていた言葉が印象的でした。

今回初めて高校生ゼミのサポートを行い、ゼミが始まるまではどんなサポートをすれば良いか不安でしたが、何事もなく終了できて安堵しています。

振り返ってみれば特に野外実習では、ゼミの先生は一人で教えることに集中しているため、直近に居る高校生には目配せできるが受講生全員には目が届かないことがあるので、サポートは全員

の行動や不安全な領域へ行かないよう導き目配りする役割が必要だと思った。なお、海辺の実習時、一部の人で靴底が滑りやすい革靴をはいて居たので、履物は最初から長靴と指定したほうがよいのではと思った。

高校生ゼミのサポートは、演習林の役割や専門知識を丁寧に学べ、また知らなかったことの発見が多々あるので、興味あるかたは積極的に参加されれば楽しくサポートできるのではないかと思います。



海辺の生き物たち観察と生態調査

プログラム

7月30日(月)

- | | |
|---------------------|-------|
| ・講義「千葉演習林ってどんなところ？」 | 清澄講義室 |
| ・講義「植物採集と標本づくりを学ぼう」 | 同上 |
| ・実習「森へ植物を採集にでかけよう」 | 荒樫・今澄 |
| ・講義「植物の名前を調べよう」 | 清澄講義室 |
| ・講義「野生生物との共生」 | 同上 |
| ・実習「夜の森で動物を見てみよう」 | 清澄寺周辺 |

7月31日(火)

- | | |
|----------------------|-------------|
| ・実習「森の大きさを測ってみよう」 | 堂沢 |
| ・実習「海のプランクトンの顕微鏡観察」 | バイオシステムセンター |
| ・講義「森と地球温暖化について考えよう」 | 清澄講義室 |
| ・実習「押し葉標本を作ろう」 | 同上 |
| ・実習「森林博物資料館の見学」 | 清澄作業所 |

8月1日(水)

- | | |
|----------------------|-------------|
| ・実習「海辺の生き物たち観察と生態調査」 | バイオシステムセンター |
| ・総括、終了式 | バイオシステムセンター |

演習林関係 出版本の紹介

“本多静六 日本^{もり}の森林を育てた人” 著者 遠山 益

千葉演習林を創設された本多静六先生の業績が書かれた書です。千葉演習林については

1. 演習林を訪ねて
2. 清澄演習林を見る
3. 演習林設置の背景
4. 清澄演習林の創設
5. 清澄における造林の実際
6. 造林学実習の傍聴
7. 演習林と大学定年制

に24ページに渡って詳細にかかれており、千葉演習林の創設当時の状況と本多静六先生の人柄が勉強になります。



(実業之日本社 定価(本体2200円+税))

紹介者：石川輝雄

9～11月度 Abies ボランティア活動予定

9月4日(火)～7日(金)	二段林調査
9月(未定)	お月見研修会コースの下見と整備
10月6日(土)～7日(日)	お月見研修会
10月未定(平日)	天津小学校 緑の教室サポート
11月未定(土日祝日)	野鳥の巣箱をかけようサポート
11月未定(平日)	秋の研修会聴講とクラフト作り
11月23日(祝)～24日(土)	一般公開サポート
11月24日(土)～25日(日)	生態水文学研究所サポーターズクラブ シデコブシの会 案内・交流会

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.40

〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 東京大学千葉演習林

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321